

令和4年度子育てしやすいまちづくりについてのアンケート結果

1 目的

草津市の「子育てしやすいまち」の成果や課題を検証するため、0歳から中学生までのお子さんをお持ちの方にアンケート調査を実施する。

■調査概要

【配付対象】	児童手当受給全世帯（中学生以下）
【配布世帯数】	10,578件
【回収世帯数】	1,968件（回収率 18.6%）

参考) 令和3年度実績：回収率56.1% 令和2年度実績：回収率61.3%

2 アンケート結果

■子育てしやすいまちと思う市民の割合【問2】

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらかと いえばそう 思わない	思わない	無回答	総計
未就学児	314	568	76	22	7	987
	89.5%		9.9%		0.6%	
小学生	164	444	70	18	4	700
	86.9%		12.6%		0.5%	
中学生	55	179	27	14	3	278
	84.2%		14.7%		1.1%	
不明	0	1	0	0	2	3
	33.3%		0.0%		66.7%	
総計	533	1,192	173	54	16	1,968
	87.7%		11.5%		0.8%	

(参考)

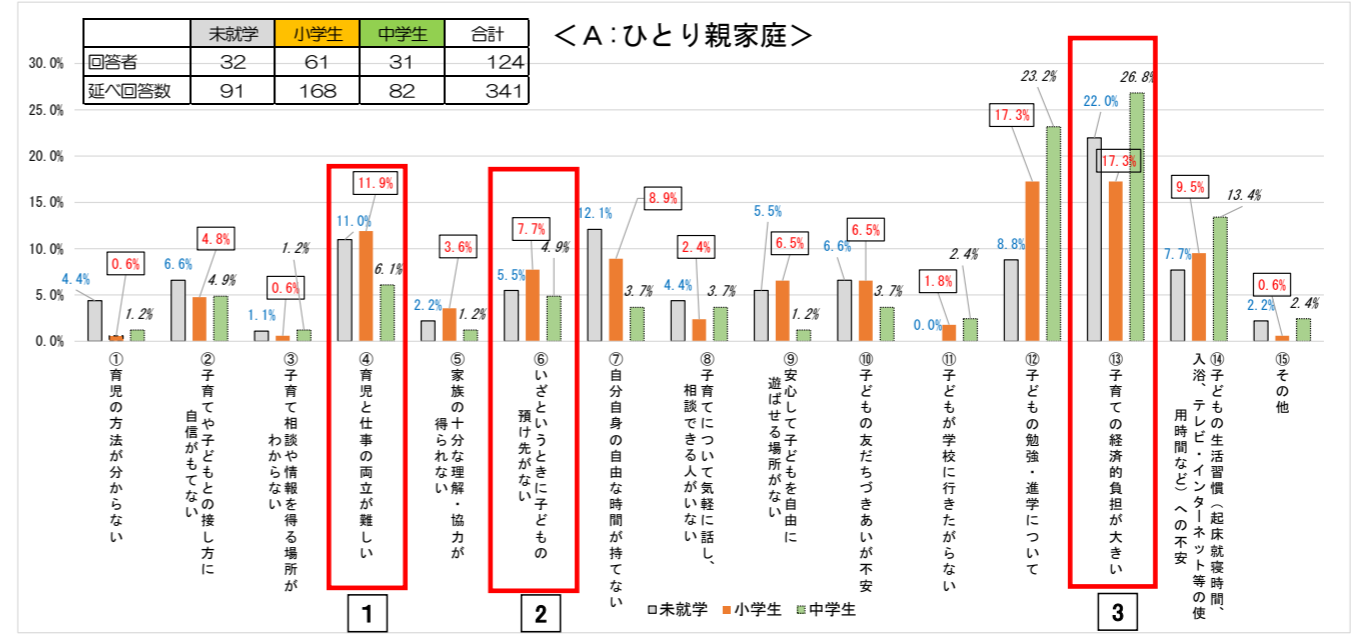
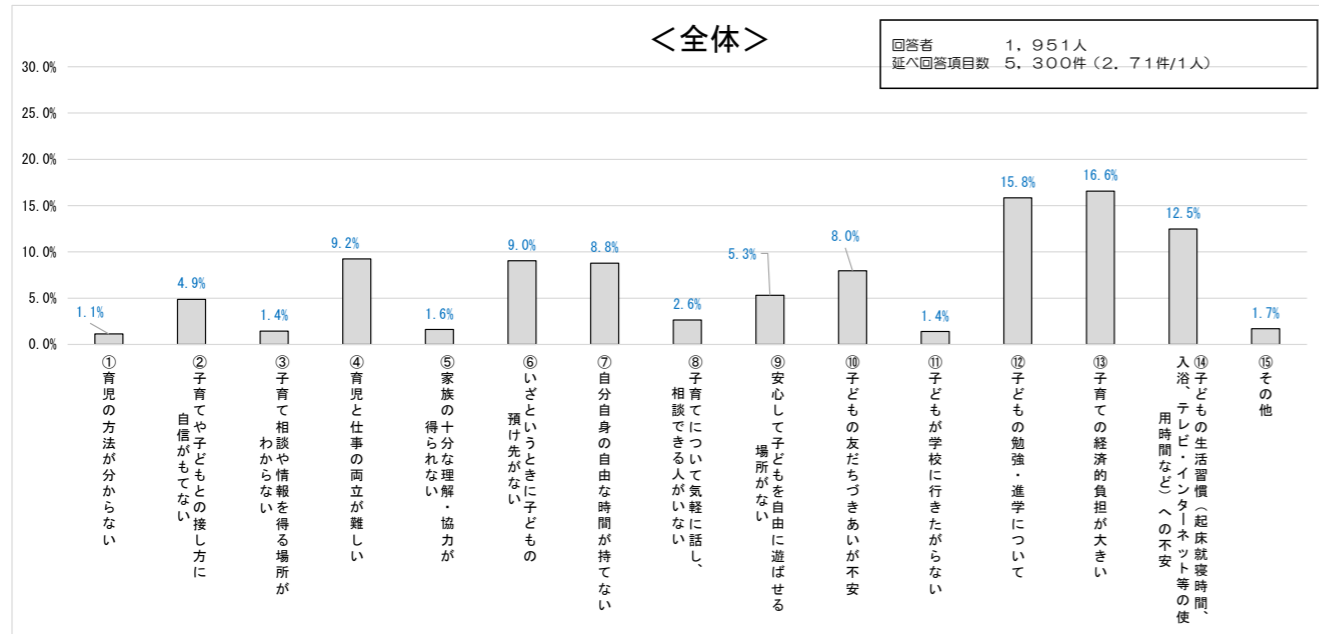
第二期草津市子ども・子育て支援事業計画

第6章 重点的な取組（子ども・子育て支援法 法定必須記載事項以外）

4 「草津っ子」育み事業の目標値

実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
満足度	82.1%	82.9%	84.5%	85.7%	87.5%	88.7%
計画値	R4年度	R5年度	R6年度			
満足度	86.8%	87.4%	88.0%			

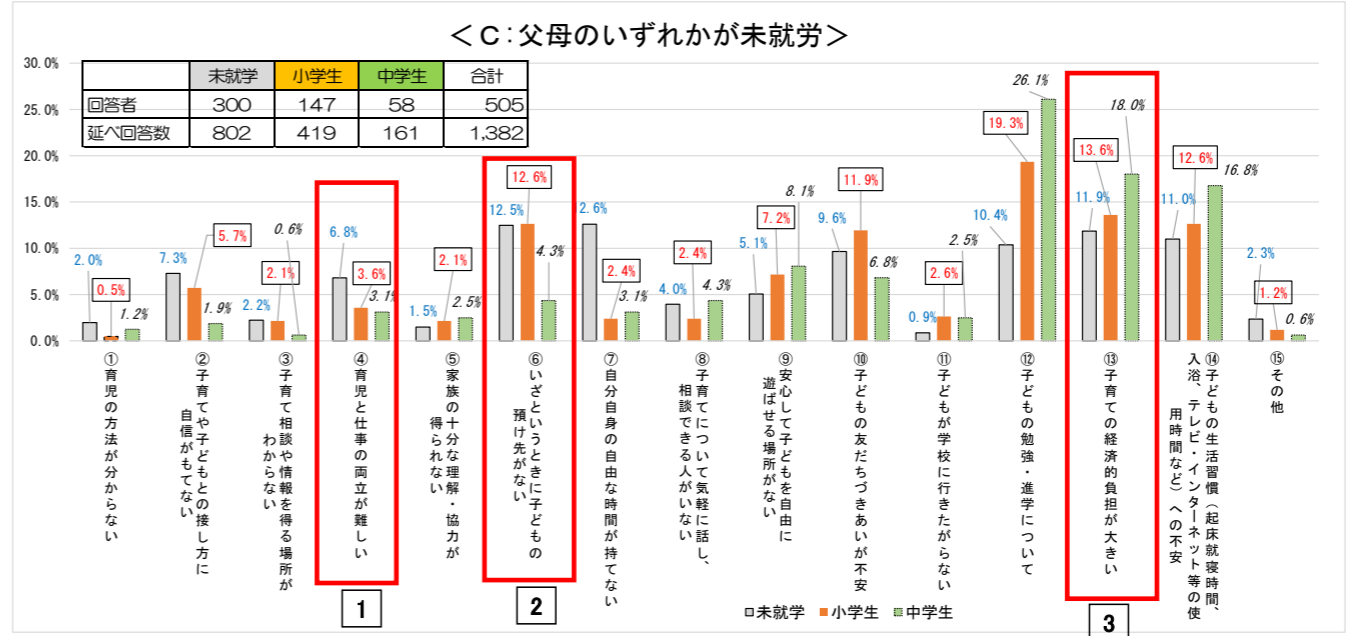
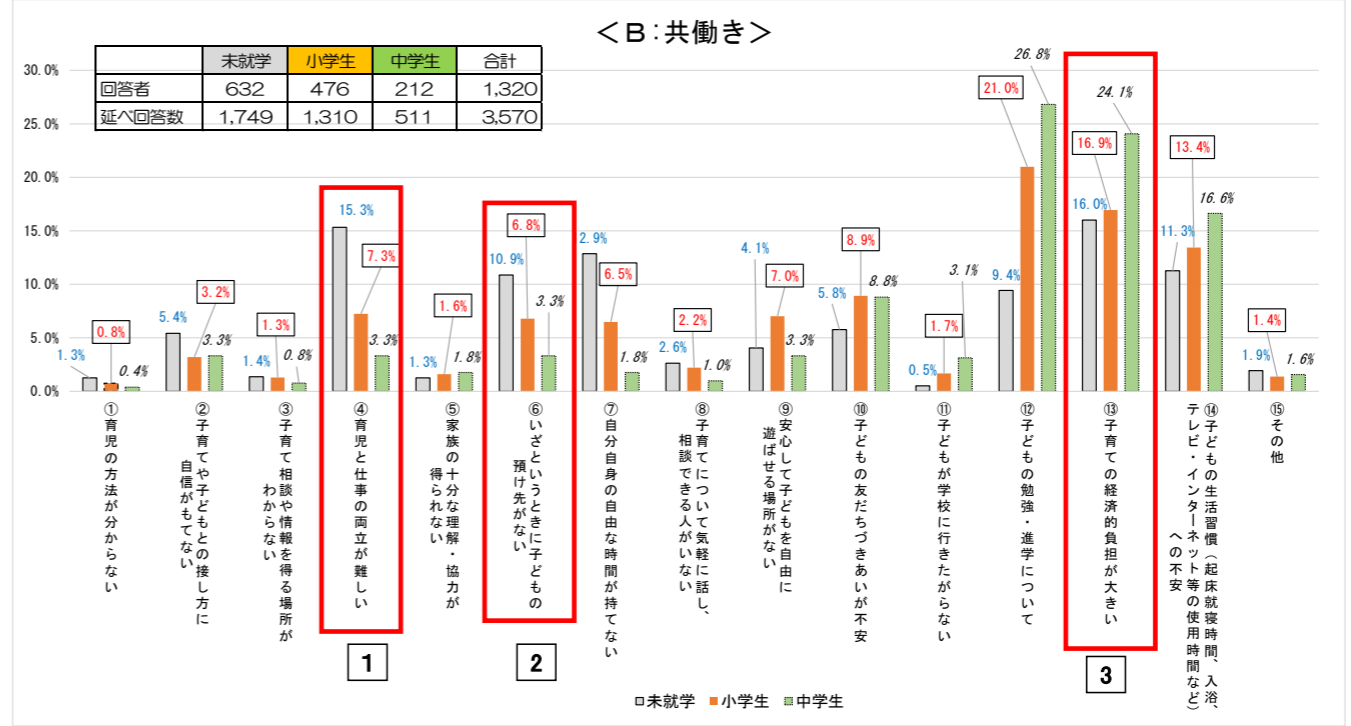
(2) 子育てに関して、日頃悩んだり、気になることはなんですか。(複数回答可) 【問4】



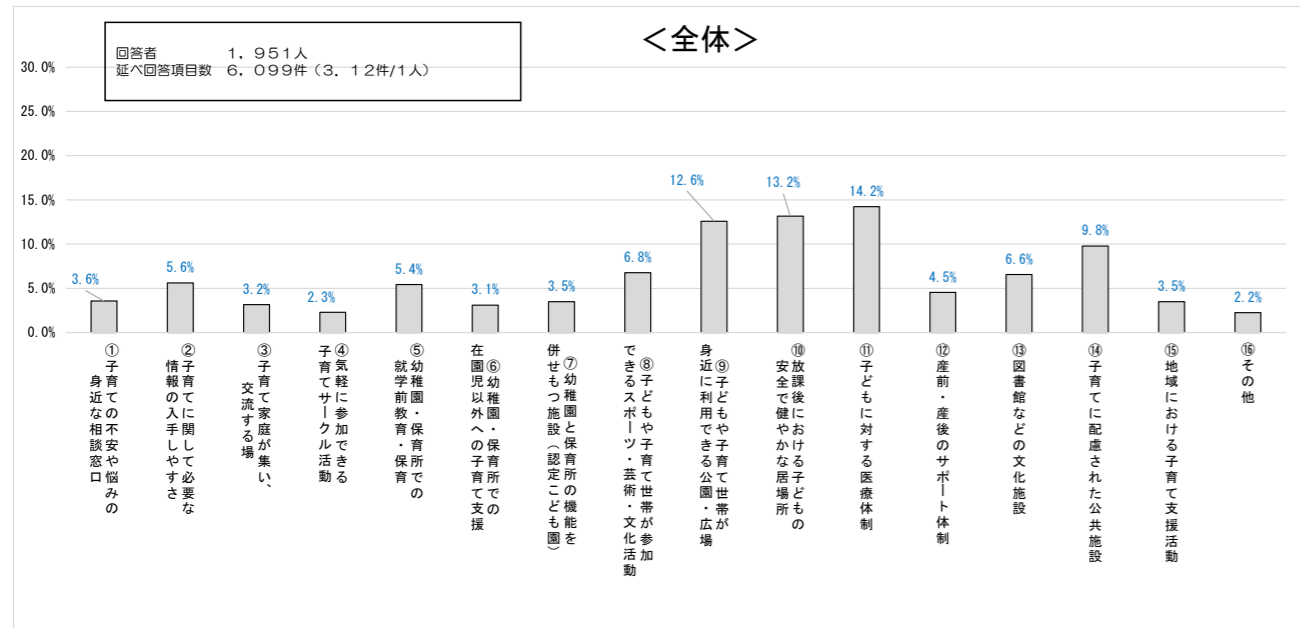
1 ④育児と仕事の両立が難しい
Aの家庭では、未就学と小学生が高くなっているが、BとCの家庭では、未就学が高くなっている。

2 ⑥いざというときに子どもの預け先がない
Aの家庭では、小学生が高く、Bの家庭では未就学が高く、Cの家庭では未就学と小学生が高くなっており、家庭状況によって異なっている。

3 ⑬子育ての経済的負担が大きい
BとCの家庭では、中学生が高くなっているが、Aの家庭では就学前と中学生が高くなっている。



(3) 子育てしやすいまちの要素として、充実してほしいと思うものを教えてください。(複数回答可) 【問6】



1 ②子育てに関して必要な情報の入手しやすさ
Bの家庭では、未就学、小学生、中学生は同じだが、AとCの家庭では、小学生が高くなっている。

2 ⑩放課後における子どもの安全で健やかな居場所
AからCのすべての家庭において、小学生が高くなっており、AとBの家庭では、中学生の比率も高くなっている。

3 ⑪子どもに対する医療体制
BとCの家庭では、小学生、中学生が高くなっているが、Aの家庭では、中学生が高くなっている。

